

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 福田 弘
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東

TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,305	—	300	—	361	—	225	—
20年3月期第1四半期	3,211	2.0	289	4.6	327	△0.7	189	△3.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	8.27	—
20年3月期第1四半期	6.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	17,904	—	11,473	—	63.7	—	418.00	
20年3月期	15,020	—	11,306	—	75.3	—	414.41	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 11,402百万円 20年3月期 11,306百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00 ～10.00	8.00 ～10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,900	—	520	—	570	—	360	—	13.20
通期	17,000	30.4	950	△12.1	1,050	△18.8	650	△20.9	23.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 ユニテックフーズ株式会社) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 29,748,200株 20年3月期 29,748,200株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,469,365株 20年3月期 2,465,387株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 27,281,379株 20年3月期第1四半期 27,416,146株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間のわが国経済は、原油や原材料の価格高騰、為替相場の変動などの影響が個人消費、企業収益を圧迫し、景気先行きの不透明感が一層増大しました。

このような環境下、当社グループは、食品会社として相応しい工場環境創りに努力し、安心・安全な製品を供給できるよう品質の向上、サービスの向上に取り組んでまいりました。また、新規顧客の開拓、製品の用途開発等を図り、業容拡大と更なる成長のための基盤確立に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、売上高3,305百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益300百万円（同3.8%増）、経常利益361百万円（同10.4%増）、四半期純利益225百万円（同18.9%増）となり、厳しい環境の中で前年同期を上回りました。

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりであります。

(1) 精糖事業

精糖事業の売上高は2,917百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益232百万円（同5.6%増）となりました。原油高による燃料費コストの増加等がありましたが、堅調な需要に支えられ、販売数量が増加したことにより、増収増益となりました。

(2) 機能性素材事業

機能性素材事業の売上高は223百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失21百万円（前年同期 営業損失7百万円）となりました。機能性食品素材「イヌリン」は拡販努力の結果、売上数量は前年同期に比べ増加しましたが、製造コストの増加を吸収しきれず、減益となりました。切花活力剤「キープ・フラワー」は切花市況の悪化により、前年同期に比べ減収減益となりました。

(3) 不動産事業

不動産事業の売上高は164百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益145百万円（同12.8%増）となりました。平成20年2月に清水原糖倉庫跡地を大手家電量販店に賃貸し、不動産賃貸収益が前年同期に比べ増加したこと等により、増収増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19.2%増加し17,904百万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間において株式を取得し子会社としたユニテックフーズ株式会社の新規連結による影響であります。

(資産)

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ28.4%増加し6,833百万円となりました。これは主に新規連結による受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14.2%増加し11,071百万円となりました。これは主に、新規連結によるのれんの計上、時価上昇による投資有価証券の増加等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ121.6%増加し4,572百万円となりました。これは主に新規連結による買掛金の増加、短期借入金の増加等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ12.6%増加し1,858百万円となりました。これは主に、新規連結による長期借入金の増加等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し11,473百万円となりました。これは主に、時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるもの等であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ828百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には、961百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は、244百万円となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益を計上したものの、たな卸資産の増加や、その他の流動資産が増加したこと等によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、1,310百万円となりました。

これは主として、子会社（ユニテックフーズ株式会社）株式の取得によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果得られた資金は、726百万円となりました。

これは主として、配当金の支払いがあったものの、短期借入金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、ほぼ計画どおりに推移しました。よって、第2四半期連結累計会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回公表（平成20年6月20日）に修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間において、新たに以下の会社が連結子会社となりました。

名 称	住 所	資本金 (千円)	主要な 事業内容	議決権の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容
(連結子会社) ユニテックフーズ株式会社	東京都中央区	300,000	機能性素材	87.8	役員の兼任…2名

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	652,893	1,481,233
受取手形及び売掛金	1,604,140	626,815
有価証券	311,942	311,920
商品	788,710	416
製品	522,854	389,267
原材料	649,546	611,943
未着原材料	29,263	—
仕掛品	98,981	100,782
貯蔵品	50,187	35,017
預け金	1,387,235	1,164,582
その他	741,324	601,634
貸倒引当金	△3,935	△500
流動資産合計	6,833,143	5,323,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	740,842	688,666
機械装置及び運搬具(純額)	218,022	227,538
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	58,234	54,896
有形固定資産合計	3,065,934	3,019,936
無形固定資産		
のれん	1,146,536	—
その他	87,525	68,976
無形固定資産合計	1,234,062	68,976
投資その他の資産		
投資有価証券	5,175,656	5,027,848
その他	1,617,171	1,648,419
貸倒引当金	△21,291	△67,602
投資その他の資産合計	6,771,535	6,608,665
固定資産合計	11,071,532	9,697,578
資産合計	17,904,675	15,020,692

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,052,692	89,997
短期借入金	2,468,500	922,000
未払法人税等	56,356	307,669
賞与引当金	52,827	78,963
役員賞与引当金	3,210	12,890
その他	938,791	651,713
流動負債合計	4,572,377	2,063,234
固定負債		
長期借入金	604,500	400,000
退職給付引当金	605,490	615,713
役員退職慰労引当金	85,557	74,100
持分法適用に伴う負債	108,322	108,322
その他	454,639	453,078
固定負債合計	1,858,510	1,651,214
負債合計	6,430,887	3,714,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,500,003	2,499,950
利益剰余金	7,511,080	7,558,261
自己株式	△577,824	△576,683
株主資本合計	10,957,719	11,005,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	448,770	306,327
繰延ヘッジ損益	△3,902	△6,072
評価・換算差額等合計	444,868	300,254
少数株主持分	71,199	—
純資産合計	11,473,787	11,306,243
負債純資産合計	17,904,675	15,020,692

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,305,534
売上原価	2,432,522
売上総利益	873,012
販売費及び一般管理費	572,575
営業利益	300,437
営業外収益	
受取利息	13,122
受取配当金	31,130
持分法による投資利益	29,290
その他	2,858
営業外収益合計	76,400
営業外費用	
支払利息	5,857
匿名組合投資損失	9,096
その他	361
営業外費用合計	15,315
経常利益	361,522
特別利益	
投資有価証券売却益	5,183
その他	26
特別利益合計	5,210
特別損失	
減損損失	3,652
投資有価証券評価損	69,989
その他	1,312
特別損失合計	74,954
税金等調整前四半期純利益	291,777
法人税、住民税及び事業税	60,982
法人税等調整額	5,147
法人税等合計	66,130
四半期純利益	225,647

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	291,777
減価償却費	34,007
減損損失	3,652
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40,659
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,680
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46,280
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,222
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,050
受取利息及び受取配当金	△44,252
支払利息	5,857
持分法による投資損益 (△は益)	△29,290
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,183
投資有価証券評価損益 (△は益)	69,989
売上債権の増減額 (△は増加)	37,852
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△202,643
預け金の純増 (△) 減	△222,652
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,754
仕入債務の増減額 (△は減少)	82,730
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	35,842
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	221
その他	56,775
小計	△12,961
利息及び配当金の受取額	79,844
利息の支払額	△4,923
法人税等の支払額	△306,071
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△21,849
有形固定資産の売却による収入	100
投資有価証券の取得による支出	△81,311
投資有価証券の売却による収入	85,283
無形固定資産の取得による支出	△10,733
長期貸付金の回収による収入	808
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,282,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,310,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000,000
自己株式の取得による支出	△1,509
自己株式の売却による収入	421
配当金の支払額	△272,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	726,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△828,317
現金及び現金同等物の期首残高	1,790,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	961,836

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,917,510	223,158	164,866	3,305,534	—	3,305,534
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	112	277	390	(390)	—
計	2,917,510	223,270	165,143	3,305,924	(390)	3,305,534
営業費用	2,685,057	244,788	19,181	2,949,026	56,070	3,005,097
営業利益 又は営業損失(△)	232,452	△21,517	145,962	356,897	(56,460)	300,437

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖 …………… 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材 …… 食品添加物、イヌリン及び切花活力剤

(3) 不動産 …………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用(56,460千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室での各事業の研究開発に係る費用であります。

4 当第1四半期連結会計期間にユニテックフーズ株式会社を子会社化したことに伴い、機能性素材事業において資産の額が2,359百万円増加しております。

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金額(千円)	
売上高		3,211,042
売上原価		2,368,034
売上総利益		843,008
販売費及び一般管理費		553,554
営業利益		289,453
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,275	
その他	11,390	41,666
営業外費用		
支払利息	3,382	
その他	258	3,640
経常利益		327,479
特別利益		—
特別損失		—
税金等調整前四半期純利益		327,479
法人税等		137,768
四半期純利益		189,711

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,828,178	235,808	147,054	3,211,042	—	3,211,042
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	277	277	(277)	—
計	2,828,178	235,808	147,332	3,211,319	(277)	3,211,042
営業費用	2,608,093	243,029	17,940	2,869,063	52,524	2,921,588
営業利益 又は営業損失(△)	220,085	△7,220	129,391	342,256	(52,802)	289,453

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖 …………… 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材 …… 食品添加物、イヌリン及び切花活力剤

(3) 不動産 …………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門に係る費用(44,130千円)及び研究開発室での各事業の研究開発に係る費用(8,671千円)であります。